

「2007年1月から2011年12月までに川崎医科大学附属病院で肺がんと診断され手術を受けられた患者さんへのお知らせ」

研究課題名：閉塞性肺炎を伴った肺癌症例の臨床病理学的特徴および予後に関する研究

当教室では、2007年1月から2011年12月までに、川崎医科大学附属病院で肺がんと診断され手術を受けられた患者さんについて、手術前の検査結果と手術標本の検査結果を比較して、閉塞性肺炎（肺癌のまわりに肺炎を起こしていること）を伴った肺癌の特徴について研究することを倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、閉塞性肺炎を伴った肺癌にどのような特徴があるかということを検討し、今後の臨床現場に役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。

本研究はレントゲンやCTなどの画像、痰や気管支鏡で採取した検体および手術標本を再評価し、カルテからのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報を抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。また、この研究に自分のデータを使用されることに「不同意とする」ことも可能ですので下記の問い合わせ先にご相談下さい。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。

この研究に対する説明を御希望の方は、問い合わせ先まで連絡をお願いいたします。

[問い合わせ先] 川崎医科大学 呼吸器外科学 講師 清水克彦

1. 電話：086-462-1111 内線 25519
2. FAX：086-464-1124
3. 電子メール：gts@med.kawasaki-m.ac.jp